要請番号（JL11518A02）

募集終了

国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ミクロネシア	G182 小学校教育		個別	交替 4代目	2年	・2019/1

【配属機関概要】

1）受入省庁名（日本語）

コスラエ州教育局

2）配属機関名（日本語）

ウトエ小学校

3）任地（ コスラエ州ウトエ ） JICA事務所の所在地（ ポンペイ州コロニア ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（ 飛行機 で 約 1.0 時間 ）

4）配属機関の規模・事業内容

配属先は、州の中心地から車で30分の村落部にある中規模校である。地域の5歳から14歳の子どもを受け入れている。幼児教育1年、小学校1年生から8年生までの約200名の子どもが通っており、教職員数は約30名である。コスラエ語、算数、英語、理科、社会等の科目があり、それぞれ教科担任制で教えられている。学期は、8月末開始・6月終了の4学期制。同校の年間予算は、約22万米ドル(2,500万円)。アジア開発銀行による算数・言語能力向上のための技術協力プロジェクトの実施対象校であった(2013-2015)。前任青年海外協力隊員は2017年4月から2019年3月まで活動中である。

【要請概要】

1）要請理由・背景

当国では、児童・生徒の算数の基礎学力の低さが顕著であり、教員の指導能力の改善が課題の一つとなっている。JICAは、各州の複数の学校へ小学校教育隊員を派遣。隊員は、配属校での児童を対象とした授業活動に加えて、配属先による任地の実状に合わせた研修会等の実施を支援し、児童の算数における基礎知識と技能定着及び教員の指導能力向上を図っている。
2017年4月より活動している前任者は、第4・5学年を担当し、教員の指導力、生徒の学力向上に努めている。コスラエ州内には、2017年12月現在、小学校教育隊員2名が活動中である。同校には、これまでの隊員の協力によって指導力が向上した教員や、指導法の習得に関心のある教員が在籍するが、現地教員のみで指導力向上のための取組みを継続することは難しく、本要請に至った。

2）予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

1.同僚教員と共に、主に低中学年の算数の授業を担当し、生徒の基礎学力向上を図る。
2.同僚教員と共に、主に低中学年の算数について、より良い授業方法(教材や授業計画の作成・活用を含む)を実践し、教員の指導能力の向上を図る。
3.配属先の主体性や活動の継続性に留意し、同僚教員、同州内の青年海外協力隊員、教育局担当者他と協働し、授業研究会や研修会等を企画・実施し、教員の指導能力の向上を図る。

3）隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

机、椅子、PC、プリンター、コピー機、教具、インターネット環境あり(職員室のみ)
※ 州教育局主導により、第1・2学年用の日本(学校図書)の算数教科書(英語版)が導入されている。

4）配属先同僚及び活動対象者

校長、副校長、幼児教育3名、各学年担任2名(16名)、理科担当1名、特別支援教育担当2名、 事務員1名、用務員1名、門衛2名、バス運転手1名。
計約30名 30-50代が多い。

5）活動使用言語

英語

6）生活使用言語

その他

7）選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（小学校教諭）

[学歴]：（　　）　備考：

[性別]：（　　）　備考：

[経験]：（教員経験）2年以上　備考：教員への指導、助言を行うため

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候）　気温：（25～33℃位）

[電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可　　電話可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

任地での現地語学研修では、英語を使用して現地語(コスラエ語)を学習する。特にコスラエ州ではコスラエ語の使用頻度が高く、現地語を学習し習得することは必須である。隊員の住居は、ホームスティとなる。

COPYRIGHT(C)1995-2015 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION AGENCY. ALL RIGHTS RESERVED.